

## 栃木市地域プロジェクトマネージャーの任用について

### 1. 背景

- ・蔵の街で空き家、空き蔵が相当数あることが確認されています。
- ・平成17年度の町並み調査で254棟確認された蔵が、令和7年度の調査では193棟まで減少しています。
- ・今後はさらに空き家や空き蔵の増加や蔵が取り壊されると危惧されています。
- ・蔵の街の地域資源の減少を止め、残していく為に総合的にマネジメントする人材が必要な状況にあります。

### 2. 概要

- 地域おこし協力隊と地域プロジェクトマネージャーの違い
  - ・どちらも総務省が推進する制度で、目的や雇用形態に違いがあります。
  - ・地域おこし協力隊は会計年度任用職員あるいは業務として委託する雇用形態の選択ができますが、地域プロジェクトマネージャーでは会計年度任用職員として任用する者に限られます。どちらも国の特別交付税措置の対象となります。
  - ・任用の目的については、地域おこし協力隊では地域を活性化するための活動しながら定着を目指す「協力者」ですが、地域プロジェクトマネージャーは、地域・行政・民間を繋ぐ「ブリッジ人材」として、また市の重点事業について専門的にマネジメントする市の職員としての「即戦力」です。
- 任期についてどちらも最長3年間です。
- 地域おこし協力隊経験者を地域プロジェクトマネージャーに任用することは可能です。
- 公募が必須です。

### 3. 採用までの経緯

公募期間 : 4月1日～4月24日

公募者数 : 1名

一次選考 : 書類審査

二次選考 : 面接

任用者氏名 : 村山大樹(35歳)

経歴 : 合同会社ダイバーステイ代表(小山市のコワーキングスペース)、栃木市・小山市で5棟の民泊施設を運営

令和4年度～7年度まで本市の地域おこし協力隊員として伝建地区内の空き蔵を民泊施設にするため開業支援を行った。

#### 4. 活動内容について

##### ○空き家、空き蔵の保存と活用の整備

栃木市内の空き家や空き蔵を購入または借り上げて、活用するため所有者や事業者の調整を行い、宿泊施設整備を図ります。一施設で完結するものではなく、食事や浴場等の希望を市内店舗との連携を図り、分散し、点ではなく面として蔵の街エリアの活性化を目指します。

現在、地元金融機関より、栃木市内の空き家を活用した古民家ホテルの事業化について相談を受けており、歴史的建造物を含む空き家等の活用は、本市の課題でもあることから、当該金融機関等と連携した取組を進めます。

今後、DMO(観光地域づくり法人)やDMC(観光地域づくり会社)の設立に向け、体制づくりを進めます。

#### 5. 予算状況について

- ・令和8年度予算額：4,883千円

#### 6. 他市の状況について

- ・県内市町での地域プロジェクトマネージャーの任用は、益子町、小山市に次いで3例目です。

##### 【問合せ先】

蔵の街課 重伝建係

担当：木村

電話：0282-21-2571